

第4次名古屋市環境基本計画 指標一覧（令和7年度とりまとめ結果）

施策	指標項目	指標の説明	基準年度 (2020年度)	最新値 (2024年度)	目標値 (2030年度)
Ⅰ 全ての主体の環境に関わる学びと行動、パートナーシップを推進する	環境問題の解決には、市民自らが行動することが必要と強く思う市民の割合	市民アンケート調査で、「市民自ら行動することが必要と思う」と答えた人の数／アンケート回答総数×100	45.1%	40.6%	60%
	なごやSDGsグリーンパートナーズ登録認定数（累計）	事業活動における環境配慮を主体としたSDGs達成に向けた取組を自主的かつ積極的に実施している、本市に所在地のある事業所数の累計	2682件	2,994件	4,300件
	市民団体、事業者、教育機関など「なごや環境大学」を支える団体数（累計）	市民団体、事業者、教育機関など「なごや環境大学」を支える団体数（累計）	474団体	545団体	565団体
Ⅱ 健康で安全、快適な生活環境の保全をはかる	名古屋は大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などによる公害の心配がないまちと思う市民の割合	市民アンケート調査で、「そう思う」「ある程度そう思う」と答えた人の数／アンケート回答総数×100	39.2%	27.0%	50%
	大気の世界目標値の達成率（二酸化窒素）	当該年度における二酸化窒素の世界目標値の達成率（達成箇所／調査地点）	94.1%	100.0%	100%
	水質の世界目標値の達成率（BOD）	当該年度におけるBODの世界目標値の達成率（達成箇所／調査地点）	80.0%	74.1%	100%
	自動車騒音の世界基準の達成率（幹線道路全体）	名古屋市内の幹線道路における昼夜間の世界基準の達成率	96.8%	97.3%	98%
Ⅲ 廃棄物の発生抑制や資源の循環利用、適正処理を推進する	ごみ・資源の総排出量	市内で排出されたごみと資源を合計した量	82.8万トン	78.8万トン	87万トン
	ごみの処理量	市で処理するごみの量（他都市から受け入れているごみを除く）	58.8万トン	54.3万トン	56万トン
	日常生活でごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合	市民アンケート調査で、「日常生活でごみの減量やリサイクルに取り組んでいる」と答えた人の数／アンケート回答総数×100	83.1%	81.8% (2024年1月)	90%
	ごみの埋立量	市内で排出されたごみの焼却灰などの埋立量	2.7万トン	1.6万トン	2.0万トン
Ⅳ 生物多様性の保全と持続可能な利用、水循環機能の回復をはかる	暮らしの中で生物多様性に配慮した行動をしている市民の割合	市民アンケート調査で、「暮らしの中で生物多様性に配慮した行動をしている」と答えた人の数／アンケート回答総数×100	55.3%	50.7%	60%
	新たに確保された緑の面積（累計）	新たに供用された都市公園面積、緑化地域制度により新たに確保された民有地緑化面積、特別緑地保全地区、保存樹林、市民緑地に新たに指定された区域の面積を合計したもの。	—	165.5ha (4か年)	400ha (10か年)
Ⅴ 気候変動に対する緩和策と適応策を推進する	温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算値）	市域内の温室効果ガスの排出量	1,391万トン (2018年度)	1,280万トン (2022年度)	1,172万トン
	最終エネルギー消費量	市域内の最終エネルギー消費量	153PJ	145PJ	148PJ
	日々の省エネに常に取り組む世帯の割合	市民アンケート調査で、「冷暖房機器の設定温度を高め、低めに設定している」「照明やテレビなど、こまめにスイッチを消している」「使っていない電化製品のコンセントをこまめに抜いている」と答えた人の数／アンケート回答総数×100	41.3%	43.0%	50%
	太陽光発電設備の導入容量	資源エネルギー庁が公表している、固定価格買取制度における太陽光発電設備の導入容量	250,700kW	321,204kW	370,000kW